

タケシール

不飽和ポリエステル樹脂

業務用

FRP遮熱トップ

<用途>

タケシールFRP防火工法のトップコート
遮熱タイプ

硬化特性

表-1. 硬化特性表

温度	パーメックN 添加量					
	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%
35℃	26.1分	11.1分	6.8分	4.8分	3.6分	2.9分
30℃	38.4分	16.3分	9.9分	7.0分	5.3分	4.2分
25℃	56.3分	24.0分	14.6分	10.2分	7.8分	6.2分
20℃	82.6分	35.2分	21.4分	15.0分	11.4分	9.1分
15℃	121.1分	51.6分	31.4分	22.0分	16.7分	13.4分
10℃	177.7分	75.8分	46.0分	32.3分	24.5分	19.6分
5℃	260.8分	111.2分	67.5分	47.4分	36.0分	28.8分



荷姿 20kg缶
カラー グレイ
砂無/砂入 があります

表-2. パーメックN標準添加量

	冬季	中間季(春秋)	夏季
パーメックN添加量	2.0%	1.0%	0.5%
気温	5℃	20℃	30℃

標準塗布量 0.4kg/m²

硬化物特性

表-3. 硬化物物性表

試験項目	単位	注形品	試験方法
引張り強さ	MPa	48	JIS K 7162
引張り弾性率	GPa	4.4	JIS K 7162
引張り伸び率	%	1.6	JIS K 7162
曲げ強さ	MPa	88	JIS K 6911
曲げ弾性率	GPa	4.0	JIS K 6911
バーコル硬度	(HBI-A)	40	JIS K 6911
23℃吸水率	%	0.18	JIS K 7209
煮沸吸水率	%	0.34	JIS K 7209
過度たわみ温度	℃	62	ASTM D648

※アフターキュア：120℃/2時間

【ご使用法】

- 作業前に缶を逆さにしてゆすって混合して下さい。攪拌機で混合すればなお結構です。また、塗装する面の水、油、ほこり等は完全に除いて下さい。
- タケシールFRP遮熱トップには促進剤が予め添加してありますので、硬化剤（パーメックN）を添加し十分に混合するだけで硬化します。但し、ゲルタイムは硬化剤の添加量、温度によって異なりますので、上記表-1, 2を参考にして十分な硬化が得られるようにして下さい。

【ご使用上の注意】

- タケシールFRP遮熱トップはサンディング面、積層面には強い接着力をもちますが、ワックス入りの樹脂を積層した面に対しては接着力が弱くなりますので、必ずサンディング後に塗装して下さい。
- 硬化が不十分のまま水分が表面に付着すると、その部分が硬化不良を起こし耐久性が低下することがあります。特に冬季等の硬化の遅い時期には、十分注意して下さい。
- タケシールFRP遮熱トップは、直射日光を避け冷暗所に保管して下さい。屋外に保管しますと水分の混入が起こる恐れがありますので避けて下さい。

遮熱特性データ

【反射率】

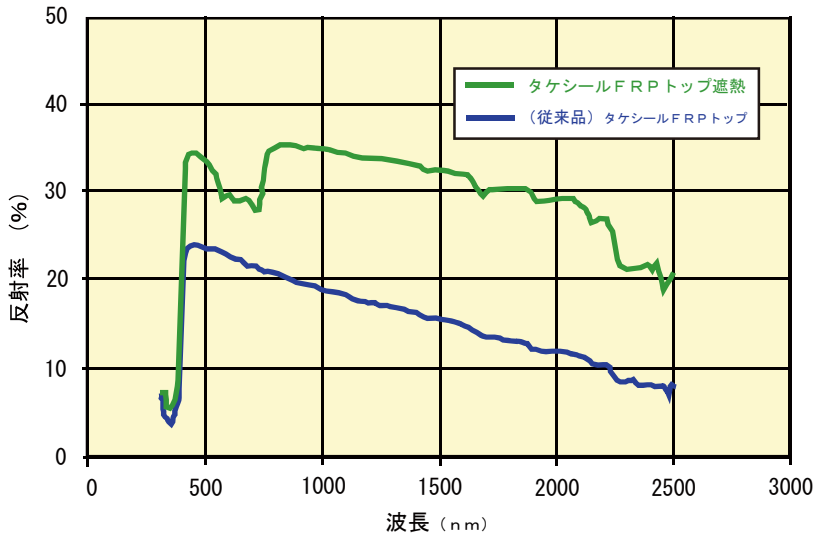


図-1. 分光反射率

表-4. 日射反射率

	日射反射率	
	全日射反射率 300 ~ 2500nm	近赤外波長域 日射反射率 780 ~ 2500nm
タケシール FRP遮熱トップ	31.1%	33.3%
(従来品) タケシールFRPトップ	19.7%	17.5%

【遮熱性】

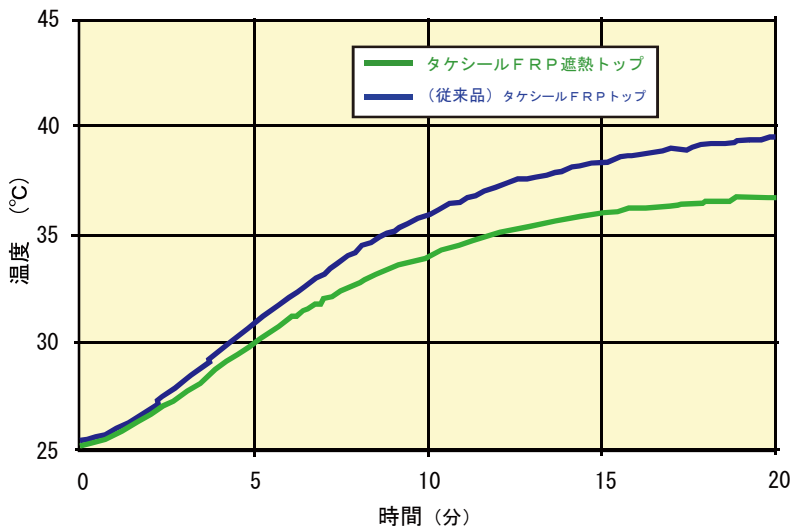


図-2. 遮熱試験結果

<試験方法>

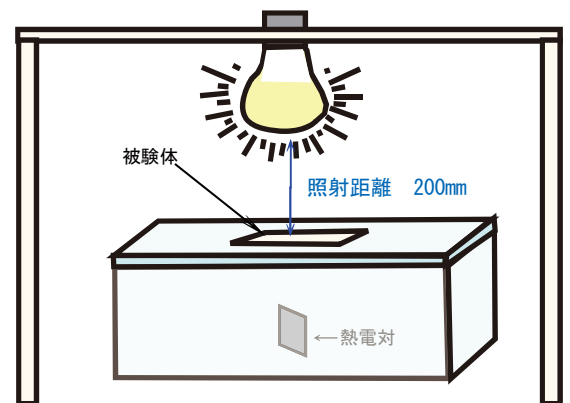


表-5. ランプによる遮熱性評価結果

	10分照射後の表面温度
タケシール FRP遮熱トップ	53.2°C
一般トップコート (タケシールFRPトップ)	64.0°C

約-10°C

<試験方法>

